

令和6年度 佐世保市立宇久小学校 学校経営方針(グランドデザイン)

【校訓】  
和して学び 自立して歩む

教育理念  
笑顔あふれる学校  
「キラッと輝く笑顔あふれる学校」

憲法  
教育基本法・学校教育法  
学習指導要領

学校教育目標  
ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる児童の育成

長崎県教育方針  
佐世保市教育方針  
佐世保市徳育宣言

児童の実態

保護者・地域の願い

めざす姿

**P**

<めざす学校像>  
いきいきとした学校(自ら学び合う力の育成)  
たのしい学校(支持的風土の醸成)  
きれいな学校(学習環境・言語環境の整美)

<めざす児童像>  
かしこい子(知 育)  
やさしい子(徳 育)  
げんきな子(体 育)

<めざす教師像>  
子供に寄り添う教師  
互いに磨き合う教師  
信頼される教師  
恩送りできる教師

学校経営方針:重点目標

- ①確かな学力向上と定着 ②道徳・人権教育の充実 ③生徒指導・教育相談体制の充実 ④個を生かす特別活動の充実
- ⑤特別支援教育の推進 ⑥健康安全指導の推進 ⑦教育環境の整美 ⑧家庭・地域との連携

学校教育目標達成のための具体的方策

**D**

<学びの自力づくり>  
○子どもが進める複式授業づくり  
○ICT活用による個への対応  
○体験活動・協働活動から広げる学びづくり  
○対話で広げ深める授業づくり

<学びの基礎づくり>  
○3つのがんばること  
○I CAN・WE CANの時間の充実  
○生活リズムを整える指導  
○自主学習への取組

<学びの場づくり>  
○小中高一貫教育の充実  
○幼小連携  
○コミュニティ・スクールの充実

**C**

取組のふり返し

- 学校評価
- 児童アンケート(学習・生活)
- 職員自己評価(校内研究・ウェルビーイングな職員室づくり)



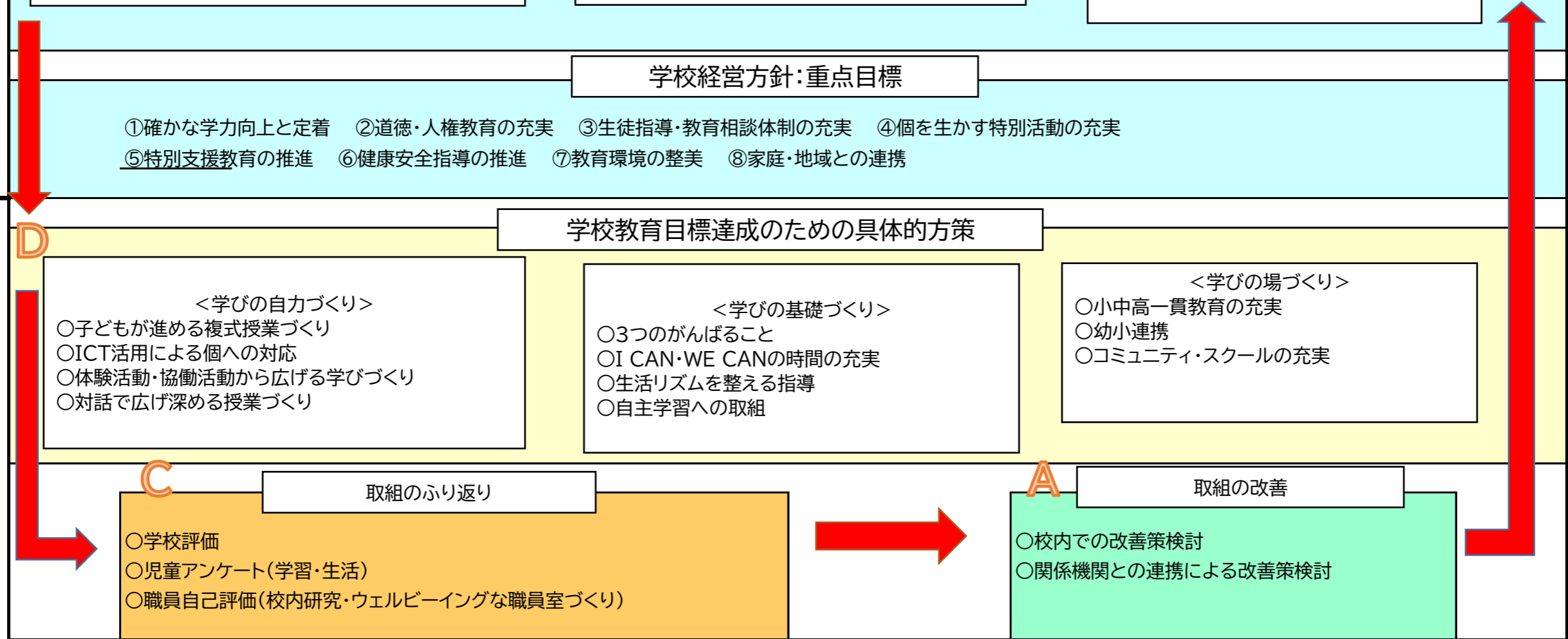
**A**

取組の改善

- 校内での改善策検討
- 関係機関との連携による改善策検討

宇久地区コミュニティ・スクール

小中高一貫教育



## 令和6年度 学校経営方針及び学校教育目標

### 1 教育方針

日本国憲法ほか関係法令並びに長崎県及び佐世保市の教育方針に基づき、児童・家庭・地域の実態に即して、人間性豊かでたくましく生きる児童の育成に努める。

その実現のため、全職員が教育者としての使命と責任を自覚し、児童への深い愛情と確かな指導力をもって、一致協力して本校教育の充実・発展に努める。

### 2 校訓

『和して学び 自立して歩む』

### 3 教育理念

『笑顔あふれる学校』

### 3 学校教育目標

ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる児童の育成

#### (1)めざす学校像

- いきいきとした学校(自ら学び合う力の育成)
- たのしい学校 (支持的風土の醸成)
- きれいな学校 (学習環境・言語環境の整美)

#### (2)めざす児童像

- かしこい子(知 育)
- やさしい子(徳 育)
- げんきな子(体 育)

#### (3)めざす教師像

- 子どもと共に歩む教師 (子どものよさを認め伸ばす)
- 互いに磨き合う教師 (日々研修に励み語り合う)
- 信頼される教師 (自らの行動で範を示す)
- 恩送りできる教師 (同僚・子ども・保護者・地域への恩を大切にす)

#### (4)3つのがんばること ※始業式で話す内容になります。

- よいところを見つける。
- 自分から元気にあいさつと返事をする。
- 「ありがとう」や「ごめんなさい」を伝える。

## 4 重点目標

### (1) 確かな学力向上と定着

- お互いの考えを尊重し学び合う集団(支持的風土づくり)
- 学習指導の充実(学習規律の確立、基礎基本の定着、複式授業)
- 自ら学ぶ力の育成  
(カリキュラムマネジメント、学習の進め方の指導、家庭学習・自主学習の定着)
- コミュニケーション能力の向上(授業への対話・書く活動の位置づけ)

### (2) 道徳・人権教育の充実

- 考えを交流し合う道徳授業(他と向き合い自分と向き合う場面の設定)
- 全ての生命を尊重する心の育成(全教育活動での意図的な指導)
- 学校・家庭における読書活動の充実(読書による心の育成)
- 人権・平和教育の計画的な実践

### (3) 生徒指導・教育相談体制の充実

- あたりまえのことをあたりまえに行う
- あいさつの習慣化
- ていねいな言葉遣い
- 時間を守る
- 「3つのがんばること」の達成と反省・改善
- 物を大切にす指導の徹底(道具の扱い方、落とし物、記名、後片付け)
- 常に児童の言葉に耳を傾け、相談しやすい関係づくり

### (4) 個を生かす特別活動の充実

- 児童会活動の活性化(委員会活動の常時化の工夫)
- 体験的な活動の重視(たてわり活動・うくリンピック)
- 学級活動の活性化(企画・運営の体験)

### (5) 特別支援教育の推進

- 特別支援教育的な考えで、個の特性に応じた指導の充実(十人十色)
- 人権尊重、生命尊重、協力、助け合う心の醸成

### (6) 健康安全指導の推進

- 体力づくりの推進
- 健康観察の重視、食物アレルギーへの組織的対応
- 安全指導の徹底
- 危機管理マニュアルの活用

(7)教育環境の整美

- 施設・設備の活用と整備
- 意図的な掲示板の活用
- 清掃活動の充実

(8)家庭・地域との連携(コミュニティ・スクール)

- 教育方針の理解啓発
- 早寝・早起き・しっかり朝ごはんの徹底
- 保護者・地域への積極的な情報発信、地域行事への積極的参加
- ボランティアの要請

5 学校教育目標達成のための具体的方策

(1)学びの自力づくり ⇒ 自ら学びを進める力

- 子どもが進める複式授業づくり ※「宇久システム」
- ICT 活用による個への対応
- 体験活動・協働活動から広げる学びづくり
- 対話で広げ深める授業づくり

(2)学びの基礎づくり ⇒ 基礎基本の徹底

- 3つのがんばること
- I CAN・WE CAN の時間の充実
- 生活リズムを整える指導
- 自主学习への取組

(3)学びの場づくり ⇒ 多様な学びの実現

- 小中高一貫教育の充実
- 幼小連携
- コミュニティ・スクールの充実